

第 51 回 日本分娩監視研究会プログラム

主 催 日本分娩監視研究会
会長 箕浦 茂樹
当番幹事 東邦大学看護学部
松永 佳子

日時 2018 年 6 月 2 日 (土) 13:00~17:00
会場 東邦大学看護学部
〒143-0015 東京都大田区大森西 4-16-20

12:30~ 受付開始

13:00~ 開会あいさつ
当番幹事 東邦大学看護学部 松永 佳子

13:05~ 講演 1 より良い母子のアウトカムのために
—信頼し合える真のお産チームを構築しよう—
講師 阿部 恵子 愛知医科大学看護学部 教授
座長 斎藤 益子 東邦大学 名誉教授

14:05~ 休憩

14:15~ 講演 2 結果から学ぶ —新生児からみた分娩管理への希望—
講師 北東 功 聖マリアンナ医科大学 准教授
座長 石川 浩史 神奈川県立こども医療センター
産婦人科部長

15:15~ 総会

15:30~ 休憩

15:35～ CTG判読演習 このCTGをどう読むか？

座長 神保 正利 昭和大学江東豊洲病院

1. 分娩誘発直後に一過性徐脈を1回だけ認めた症例の分娩方針について

小川真澄 神保正利 峯尾アヤ 昭和大学江東豊洲病院

15:55～ 一般演題・助産師コーナー

座長 兵藤 博信 東京都立墨東病院
石川 紀子 静岡県立大学

1. 分娩遷延から死産に至った一症例

松井三明
長崎大学

2. 臍帯の異常と急速遂娩の関連についての実態調査 ～1年間の分娩を通して～

武田ちさと 横川彩夏 湯澤幸子
山王病院

3. 内測法（児頭電極）による分娩監視が有用であった羊水混濁の一例

斉藤祐佳 峯尾アヤ 神保正利
昭和大学江東豊洲病院

4. 分娩時に高度遷延一過性徐脈を認め、ダブルセットアップにて急速遂娩に至った一例

岸 桃世 山田有紀 本間進
東京都保健医療公社荏原病院

5. 胎動減少を主訴に来院し、サイナソイダルパターンを呈し緊急帝王切開となった症例

高橋めぐみ 櫻井沙知 中村滯佳 河合美希 内藤智子
東邦大学医療センター大森病院

6. 血性羊水を認め緊急帝王切開術を行った一例

岡野みずき 長南記志子 川端房絵
中金朗子 金井雄二 望月純子 海野信也
北里大学病院

16:55～ 閉会

次回当番幹事あいさつ

閉会あいさつ

松永 佳子 東邦大学看護学部